

ネットワークアンケート ②④

糖尿病ネットワークを通して

医療スタッフに聞きました

Q. 糖尿病の薬剤情報を日頃から情報収集していますか？

日進月歩の糖尿病治療薬。近年その種類も増えており、医療スタッフは基本的な薬の知識や最新の動向もチェックしておきたいところ。一方、患者さんは、自分の飲んでいる薬について、どれくらい知っているのでしょうか。その知識や関心度なども、うかがいました。

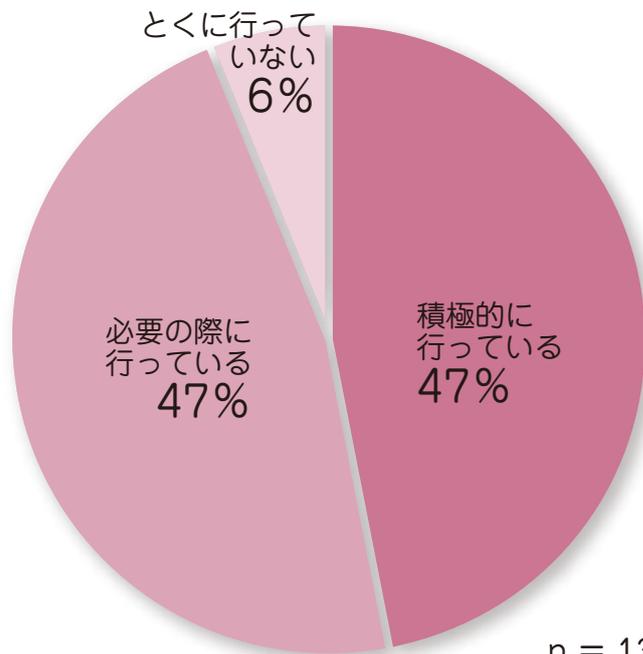
[回答数：医療スタッフ138(医師24、看護師33、准看護師4、管理栄養士33、栄養士3、薬剤師22、保健師9、臨床検査技師8、理学療法士1。うち日本糖尿病療養指導士34)、患者さんやその家族412名(病態/1型糖尿病131、2型糖尿病264、糖尿病境界型13、その他4、治療内容/食事療法を行っている292、運動療法を行っている253、経口薬を服用している243、インスリン療法233/重複回答有)]

94%の医療スタッフが情報収集を「行っている」と回答しました。職業別にみると、「積極的にしている」のは医師が最も高く、薬剤師、看護師と続きました。情報源は、「医薬品メーカーからの情報提供」や「学術集会やセミナー」が最も多く、インターネットなどのメディアも利用されているようです。患者さんからの薬に関する相談については、「薬の作用や効果」「副作用」をはじめ、医療スタッフの30%が「薬をやめたい」との相

談を受けていると回答。

自由記述では、医師からは「服用法がまちまちなのでコンプライアンス確

保が大変」、コメディカルからは、「薬の飲み忘れに対する対応など、医療スタッフでも知っておくべき知識があると思う」、メーカー等からの情報を入手しに



| | 積極的にしている | 必要の際に行っている | とくに行っていない |
|------------|----------|------------|-----------|
| 医師 | 79% | 21% | 0% |
| 看護師 | 45% | 52% | 3% |
| 管理栄養士 | 33% | 58% | 9% |
| 薬剤師 | 50% | 50% | 0% |
| 日本糖尿病療養指導士 | 56% | 44% | 0% |

くいので、情報を得る機会、薬を勉強する機会がもっとほしい」等、たくさんの声がありました。

Q. 情報収集を「行っている」と回答した方におうかがいします。どこから情報収集していますか？

(複数回答可/n=127)

医薬品メーカーからの情報提供 80%

学術集会やセミナーなど 74%

糖尿病ネットワーク 64%

医学・糖尿病関連の専門誌 61%

医薬品情報の専門サイト 45%

新聞や雑誌などの一般誌 21%

その他の関連サイト 17%

その他 7%

Q. 糖尿病患者さんから受ける、薬に関する相談で多いのは、どのようなことですか？

(複数回答可/n=138)

薬の作用や効果について 58%

副作用について 42%

服用する時間 41%

薬の飲み忘れの対応 38%

薬をやめたい 30%

薬の値段 14%

薬の種類を変えたい 12%

わからない 4%